

1. 科目名 (単位数)	金融論 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP2135						
2. 授業担当教員	孔 炳龍								
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、グループワーク	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	「暮らしと経済」、「経済学」の履修後の受講が望ましい。								
7. 講義概要	<p>金融論の場合は、入門であっても、講師によって扱う内容が様々に異なっている。それだけ金融という現象が幅広い経済分野にまたがっているからである。本講義は、金融論の基礎について体系的・包括的に全体像を学ぶだけでなく、そうした知識・理論を用いて、基礎的な個人の金融行動選択の方法を学ぶことに特徴がある。予備知識が少ない学生でも理解できるようになるべく平易に解説する。</p> <p>前半では、金融論の基礎知識・理論として、金融の役割、金融の方法、金融取引を行う場である金融市場、貨幣、金融機関、金融政策を解説する。後半は、個々の経済主体の意思決定に必要な基礎知識として、お金を融通することの対価である利子率、家計や企業等の金融行動に関する基本的な理論や方法を解説する。</p> <p>講義の進行方法については、受講者の理解を深めるため項目ごとに問題演習を行う。また課題として提出するレポートをもとに、グループディスカッションを行い、理解を深める。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の金融経済の現状を把握し、説明できるようになる。 2. 金融の基礎理論を理解し、説明できるようになる。 3. 預金や株式、社債などの金融商品の取引や、その結果である利益と損失の発生を理解し、説明できるようになる。 4. 家計や個人の金融行動の選択に関する考え方と方法を習得し、日常生活で実践できるようになる。 5. 金融の理論や方法を企業や社会福祉関連施設等の運営・管理において応用できるようになる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	レポート課題の詳細は講義中に指示する。必ず事後学習をおこない、知識を定着させておくこと。レポートは、教科書の内容からテーマを選択してまとめることから、教科書は必携である。								
10. 教科書・参考書・教材	[教科書]孔炳龍著『金融論と企業金融論』デザインエッグ社は必携								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストの輪読を通じて、金融論の基礎知識が理解できているか。 2. (中間) レポート課題に対して的確に検討し、説明できるようになっているか。 3. 期末試験 (又はレポート) を通じて、専門用語等を理解し、説明できるようになっているか。 <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の10%</td> </tr> <tr> <td>2. (中間) レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験 (又はレポート)</td> <td>総合点の60%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的参加	総合点の10%	2. (中間) レポート	総合点の30%	3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の60%
1. 授業への積極的参加	総合点の10%								
2. (中間) レポート	総合点の30%								
3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の60%								
12. 受講生へのメッセージ	本講義では、金融論の基礎と理論を中心に展開していきます。前半では、金融の役割、金融の方法、金融取引を行う場である金融市場、貨幣、金融機関、金融政策を解説します。後半では、家計や企業が、いかに資金を効率的に調達し運用するかについて金融機関や株式、社債などとの関わりをもとに明らかにしていきます。教科書は必携です。教科書の用意がなく出席しても参加とはみなしません。知識の定着化のため事後学習をすること。								
13. オフィスアワー	授業中に連絡します								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション (講義概要の説明) 金融論とは何か	事前学習	金融論とは何かインターネットで調べてくること						
		事後学習	授業で学んだことをまとめておく。						
第2回	金融の役割	事前学習	第1章金融論の基礎を読んでくること。						
		事後学習	第1章の演習問題を解く。						
第3回	金融の特徴: 情報の非対称性、逆選択、モラルハザード	事前学習	第2章金融論の役割を読んでくること。						
		事後学習	第2章の演習問題を解く。						
第4回	金融取引: 株式、債券	事前学習	第3章金融取引を読んでくること。						
		事後学習	第3章の演習問題を解く。						
第5回	日本の金融取引	事前学習	第4章日本の金融取引と金融市場を読んでくること。						
		事後学習	第4章の演習問題を解く。						
第6回	貨幣	事前学習	第5章貨幣を読んでくること。						
		事後学習	第5章の演習問題を解く。						
第7回	日本銀行と物価の安定	事前学習	第6章日本銀行と物価の安定を読んでくること。						
		事後学習	第6章の演習問題を解く。						
第8回	日本の金融機関	事前学習	日本の金融機関を読んでくること。						
		事後学習	第7章の演習問題を解く。						
第9回	信用創造	事前学習	第8章預金通貨と信用創造を読んでくること。						
		事後学習	第8章の演習問題を解く。						

第10回	信用乗数	事前学習	第9章信用乗数を読んでくること。
		事後学習	第9章の演習問題を解く。
第11回	利子と利子率	事前学習	第10章利子と利子率を読んでくること。
		事後学習	第10章の演習問題を解く。
第12回	投資収益率	事前学習	第11章投資収益率を読んでくること。
		事後学習	第11章の演習問題を解く。
第13回	家計の金融行動	事前学習	第12章家計や個人の金融行動を読んでくること。
		事後学習	第12章の演習問題を解く。
第14回	企業の金融行動	事前学習	第13章企業の金融行動を読んでくること。
		事後学習	第13章の演習問題を解く。
第15回	為替とまとめ	事前学習	第14章為替を読んでくること。
		事後学習	授業内容を振り返り、知識を定着させる。
期末試験			